

令和元年度

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

交 流 大 会

社会教育委員研修会

学びと活動の循環をつくる

～「つながり」と「地域課題の解決」を促す
社会教育の推進

日時:令和元年 12 月 14 日(土)午後1時 30 分～

会場:三鷹市公会堂 光のホール

主催:東京都市町村社会教育委員連絡協議会

第4ブロック研修会実施報告

報告者：清瀬市社会教育委員の会議 議長 高井 正、委員 齊藤 しのぶ

開始日時	令和元年10月7日(月) 14時00分～16時30分		
場 所	生涯学習センター7階 アミューホール		
参加者数	55名	幹事市	清瀬市

テ ー マ	学びと活動の循環をつくる～「つながり」と「地域課題の解決」を促す社会教育の推進～
形 式 (方 法)	一部：講演会 二部：事例発表

【概要】

第一部

講演会「学校が変わる 地域が変わる 地域学校協働推進」

講師： 福田 晴一氏 (元杉並区立天沼小学校校長、みんなのコード主任講師(プログラミング教育、文科省委託事業「学校と地域の新たな協働の構築のための実証研究」の地域学校協働活動推進・調査研究員、戸田市コミュニティスクールディレクター)

- ① なぜ地域と学校の連携が必要なのか。地域と学校の連携によってどのような効果があるか。などの基礎知識を座学形式で学ぶ。(日本の教育の現状をデータを基に説明)
- ② ワールドカフェ方式で、意見を出し合う。
- ③ アイスブレイク「私の町の自慢」
- ④ テーマ(よりよい学校、より良い地域とは何か?)
ラウンド1：学校と地域の良い関係とは何か(こんな学校、こんな地域)
ラウンド2：そのためにあなたは何かをするか
- ⑤ グループ発表
最後に、再度「メンチメータ」というアプリを使って、感想や意見を書いてもらい、内容を共有。
「メンチメータ」というアプリを使い、スマートフォンでその場でアンケートに答えることによって、リアルタイムで目の前のスクリーンに、各人の意見や集計結果が出る。
※メリットとして、口頭だと会場の皆さんからなかなか意見が出ないことが多いが、このような形式にすることによって、ストレートに自分の考えを伝えることが出来る。

第二部

清瀬市の事例発表

発表者： 齋藤しのぶ氏

清瀬市社会教育委員

第三小学校学校支援本部統括コーディネーター

- ・モデル校となった三小の立ち上がりについて
- ・三小の活動について
- ・第二中学校での活動について
- ・小学校と中学校の支援本部の違いについて
- ・アクティブシニア層の取り組みの重要性について

その後、小平市にも現状をお話いただいた。

令和元年度
東京都町村社会教育委員連絡協議会
交流大会・社会教育委員研修会

第4ブロック研修会報告

清瀬市社会教育委員の会議 議長 高井 正
委員 齊藤 しのぶ

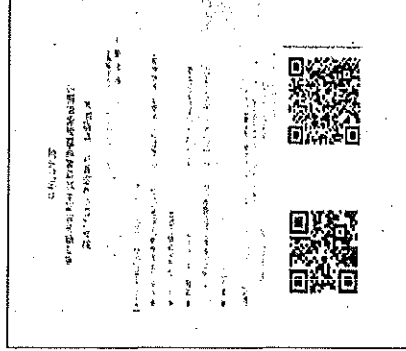
目次

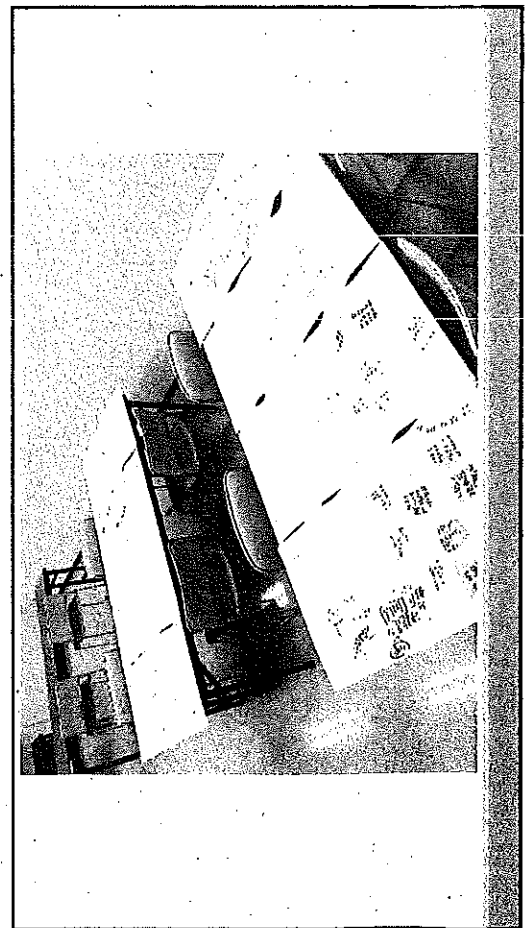
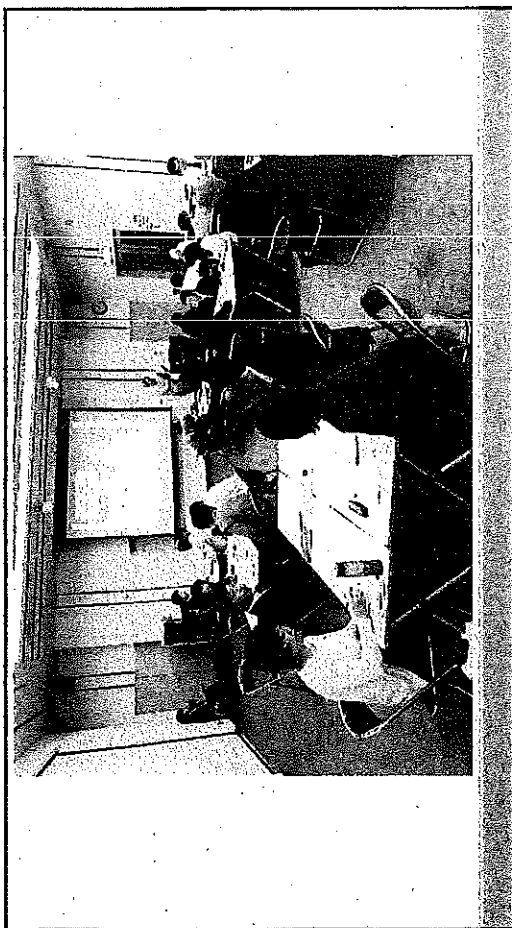
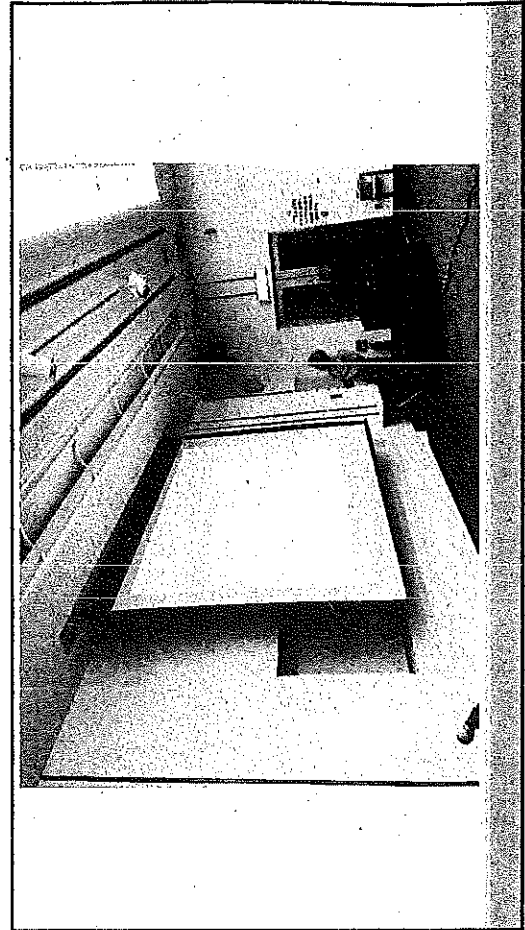
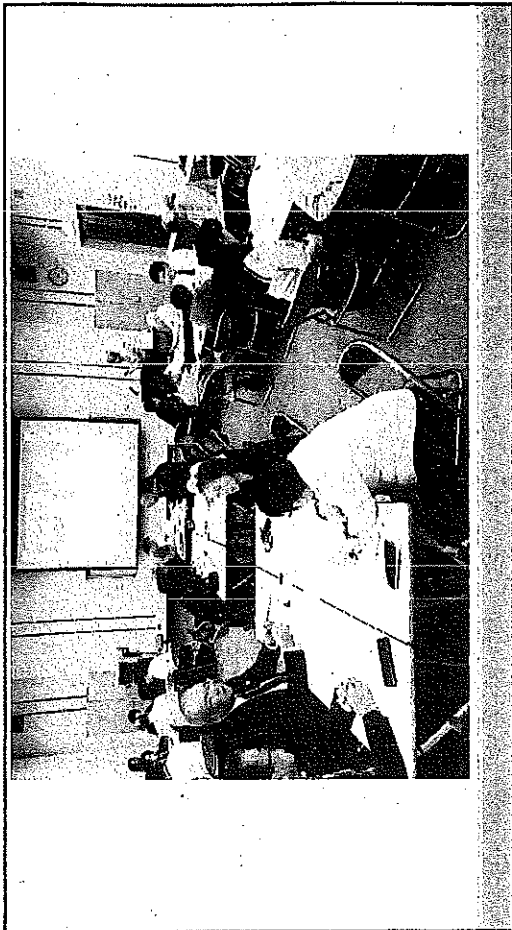
- ① 第4ブロック研修会概要
- ② 第1部 講演会「学校が変わる 地域が変わる
地域学校協働推進」
- ③ 第2部 事例発表「清瀬市の学校支援本部について」
- ④ まとめ

① 第4ブロック研修会概要

日 時：令和元年10月7日 14:00～16:40 場 所：清瀬市生涯学習センター7階 アミューホール
テーマ：学びと活動の循環をつくる～「つながり」と「地域課題」の解決を促す社会教育の推進～ 参加数：55名

② 第1部 講演会・ワールドカフェについて





③ 第2部 清瀬市の学校支援本部について

清瀬市の学校支援本部
の現状

→生涯学習へのつながり

清瀬市学校支援本部
総括コーディネーター
齊藤しのぶ

小学校の学校支援本部と
中学校の学校支援本部の
違いとは？

小学校での事例
清瀬第三小学校での活動

- ・サマースクール
- ・学校での授業支援
- ・地域の方々とのイベント
- ・ボランティア活動運営

④ まとめ

変化の激しい時代にあって、これからの学校改革に
求められる視点＜講師の福田先生＞

- ・テクノロジー(超スマート社会)
- ・多様性(インクルーシブ教育)
- ・地域連携(教育再構築)←私たちへの期待

おわりに 社会教育委員に期待されていること 提案

